

甘楽町鳥獣被害対策実施隊を再編しました

農作物や人的被害防止に努めます

町鳥獣被害対策実施隊の委嘱状交付式が4月8日に町公民館で行われ、隊員32人に委嘱状が手渡されました。



委嘱状交付

鳥獣被害対策実施隊とは

実施隊は農林業被害を防止するため平成20年に編成されました。主な業務は鳥獣の生息状況、被害発生地域および発生場所の調査や鳥獣の捕獲業務を担っており、任期は3年間です。



宇佐美隊長

実施隊の活動の様子

鳥獣の被害に遭っている地域で、足跡を探りながら安全に作業できます。また、冬には山間部に入っ



狩猟のため山に登る隊員



銃器による捕獲

甘楽町鳥獣被害対策実施隊
(敬称略・順不同)

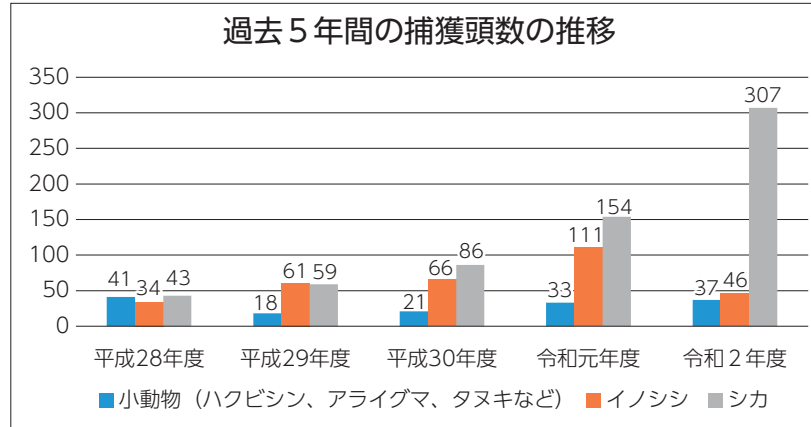
職	氏名	地区
隊長	宇佐美秋夫	轟
副隊長	◎齋藤尋義	国峰
隊員	◎堀口輝夫	上野
//	田村照男	善慶寺
//	田村智和	小幡
//	井田豊明	小幡
//	田村森司	轟
//	富岡古男	善慶寺
//	田村良一	国峰
//	中野博	国峰
//	田村弘一	国峰
//	齋藤勝義	国峰
//	中野薫明	国峰
//	◎齋藤幸美	秋畑
//	田村宏克	秋畑
//	佐藤利春	秋畑
//	浅香征夫	秋畑
//	中野民二	秋畑
//	飯塚康廣	秋畑
//	中野樹人	秋畑
//	◎井野口尚倫	小川
//	高橋孝	小川
//	田村浩幸	小川
//	土屋智宏	上野
//	武田努	福島
//	齋藤克也	福島
//	齋藤正親	福島
//	井上義久	天引
//	大河原竹雄	天引
//	井上達也	天引
//	齋藤恒利	金井
//	◎齋藤徳太郎	金井

◎印は、地域支部連絡員

山間部に生息していたイノシシやシカが近年エサを求めて住宅地まで出没し、農作物被害にとどまらず、車両事故や人的被害の危険性も危惧されます。このような状況の中で、実施隊の皆さんには、有害鳥獣の駆除および被害防止のためご尽力いただきます。有害鳥獣を目撃したり被害などに遭われた場合には、農林係またはお近くの実施隊の皆さんにご相談ください。

大型獣種が近年増えています

左表によると、平成28年頃にはイノシシやシカの捕獲頭数が約40頭でしたが、令和元年度には約100頭を上回り、2年度にはシカの数が前年の約2倍にまで増えています。小動物の捕獲頭数も右肩上がりです。今後の農作物被害が懸念されます。



狩猟免許取得などの補助金

町では狩猟者の増加を図るため、町鳥獣被害対策実施隊に所属し、町の業務に従事する者に対して、平成30年度から補助金を交付しています。

- 猟銃・わな免許取得補助
猟銃およびわなの免許取得試験における申請手数料と医師の診断書代の合計額のうち5,000円を上限として補助します。
 - 銃所持許可証取得補助
銃所持許可証取得にかかる事務手数料などの合計額のうち45,000円を上限として補助します。
 - ガンロッカー・装弾ロッカー購入費補助
銃・装弾の保管庫の購入費のうち2分の1の額(上限50,000円)を補助します。
 - 猟銃購入費補助
銃砲の所持許可を受けた猟銃1丁の購入費用の2分の1の額(上限100,000円)を補助します。
- この補助金を活用して令和2年度末までに10人が新たに実施隊員となり、町の農林業被害の軽減に努めています。



令和2年10月の捕獲活動時



箱わな設置



補助金を活用した
狩猟免許取得者に
インタビュー
武田 努さん
(福島・49歳)

もともと狩猟に興味を持っていましたが、費用がかかってしまうことや免許の取得方法が分からないなどの理由から、なかなか思い切れずにいました。町に補助金の制度があることを知って、補助金や手続きなど町の職員と相談しながら免許を取得することができました。今ではベテランの方に教わりながら楽しく活動しています。町の獣害に関する現状について知識を深め、これからも町の安全のために精一杯努力していきたいと思ひます。

安全を第一に考え、イノシシやシカの捕獲に努めます。